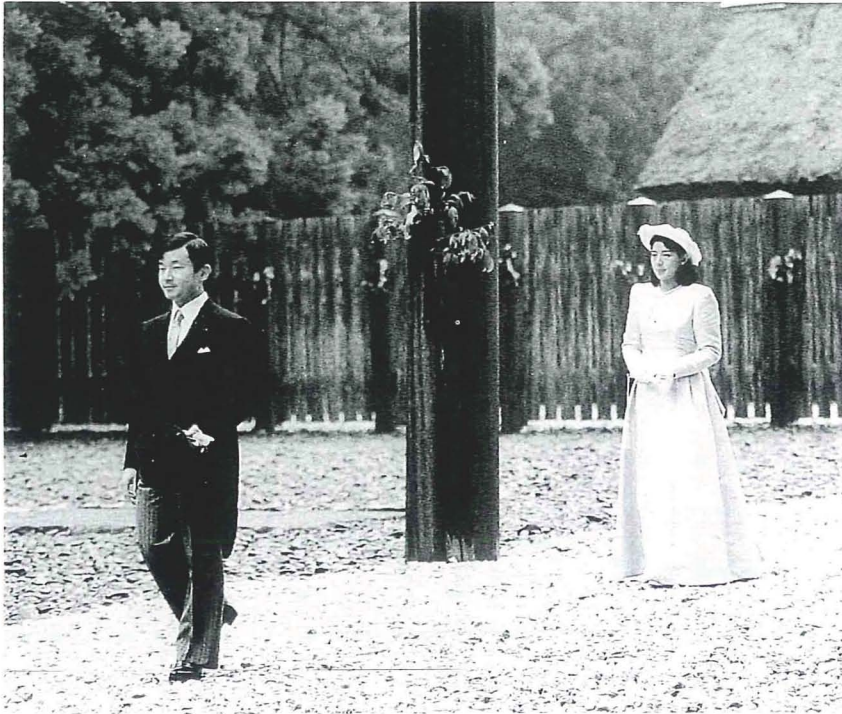




新たな旅立ち

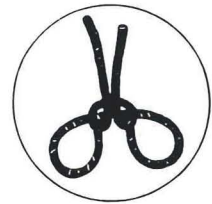
会報 むすび

第 18 号

〈発行所〉
栃木県青年神職むすび会
会報編集委員会

〈発行人〉
柳田文司

〈印刷所〉
有限会社岸印刷
平成6年4月吉日印刷



目次

ご挨拶	2
日本の心御遷宮	3
遷宮委員を終えて	4
厳かに、雅びやかに、皇太子殿下御成婚	5
平成五年度むすび会事業報告	7
むすび会新役員・幹事・各種委員会委員	8
お初穂曳きに御奉仕して	9
会員神社紹介「大宮温泉神社」	10
「千代ヶ岡八幡宮」	10
「庭療の集い」「家族親睦旅行」	12
新入会員紹介	13
定年退会者・ご誕生	15
ご結婚・編集後記	16

「ご挨拶」

栃木県青年神職むすび会

会長 柳田 文司



今般、会報むすびの発行に当たり一言ご挨拶申し上げます。

昨年は国民待望の皇太子殿下御成婚の慶事が宮中賢所に於いて厳粛に執行されました。誠にお目出度、御皇室の弥栄と国家の隆昌をお祈り申し上げる次第であります。

又、神社界あげて取り組んでまいりました第六十一回神宮式年遷宮も古式ゆかしく無事に畢わり、清々しい新宮の御神徳を賜わろうと各県神社庁ごとに参宮旅行等を企画され、早いところではすでに参拝された県もあるかと存じます。

本県に於いても、各神社庁支部単位にて参宮旅行を企画、参拝している様であります。

本県はこの遷宮に伴ないまして

平成三年度より三ヶ年に亘り「一千万家庭神宮大麻増体運動」の指定を神社本庁より受け、神社庁に於いてその対策についていろいろ取り組んでまいりました。当会と致しましてはその増体対策を人間の視聴覚を通して捕え、家庭祭祀の在り方についてのハットゥービデオと考え神社神道啓蒙ビデオ「神棚のまつり方」と題して企画し、神社本庁、神社庁、神青協のご指導ご推薦を戴き一千本のビデオを作りました。お蔭をもちまして完販し、ダビングをして販売しています。さらに「とちぎの神社めぐり―神々の社を訪ねて―」を合わせて発刊し、県内著名神社

を紹介し県内の教化活動に取り組みました。この本も好評につき、完売、増版している次第でございます。

当会は昨年創設三十周年を迎え記念事業と合わせまして、遷宮の増体運動としてビデオ・本を始めいろいろな教化・啓蒙活動を行なってきた訳であります。これだけに留まらず、活動していく所存であります。

近年の我国の若年層の西洋化、経済不況・農作物の不作（米不足）などにより、日本の文化・伝統をも損なわれつつある中で我々・神社・神職の役割は重大なものであると考えます。今回の皇室の慶事と神宮の式年遷宮を国民一人一人

が見直し、これを機に益々発展する事を願ひ私の挨拶とかえさせて戴きます。

以上

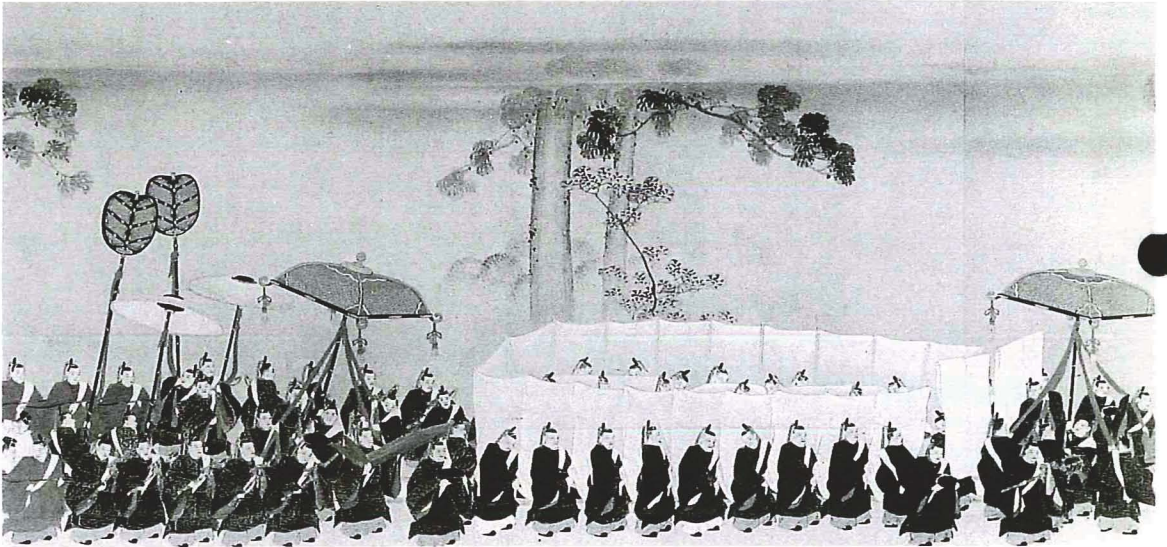


神社・仏閣用御守の企画・製作
各種金属製品の企画・製作販売

株式会社 阿部

本社・工場 ☎349-13 栃木県下都賀郡藤岡町藤岡213-7
TEL (0282) 62-1010(代表)
FAX (0282) 62-2061
東京営業所 ☎111 東京都台東区駒形1丁目12番10

日本の心 御遷宮



第六十一回の神宮遷宮遷御の儀が、皇大神宮で十月二日、豊受大神宮が十月五日の夜、清澄の浄闇の中、厳かに執り行われた。

式年遷宮に関連する諸祭は、昭和六十年に御造営に用いる木を伐るに先き立って、御杣山の山口に坐す神を祭る山口祭が行われて以来、大勢の方々が御奉仕された。お木曳き行事、お白石持ち行事等を経、いよいよ、木の香も芳しい新宮にお遷りいただく遷宮諸祭の中で、最も重儀な遷御の儀を迎えるのです。

皇大神宮の遷御の儀は、前日より新しく調進された御装束と御神宝を式目に合わせて読み合わせる御装束神宝読合を行い、その午後御装束神宝と、遷宮奉仕者を祓い清める川原大祓が五十鈴川の川辺（外宮では御正宮の前の御池）において行われる。

遷御当日、暗くなった神域に、参進を告げる太鼓の音を合図に、勅使、小出英忠掌典長以下随員と池田厚子祭主以下祭員は、斎館前庭に整列し、勅使を先頭に参進し第二鳥居へと進み、そこで祓を受ける。そして再び参進し、玉串行事所において故実に従い、玉串奉奠を行い内院の所定の座に著く。

次に、勅使が御正殿に進み出て

新宮へ御遷り願う旨の御祭文を読み上げ、楽師たちが楽を奏し扉を開きさらに召立所役が御前に進み召立文を読み上げ、その召立に従って、所役の権禰宜・宮掌・宮掌補は、行障・絹垣・御装束神宝を両手に捧げ持ち御神体より前を進む前陣と後ろを行く後陣にわかれて並列する。

次に、鶏鳴所役は、瑞垣門下に両方に立ち東に向い（外宮は東方に立ち北に向う）、「カケコー」（外宮は「カケロー」と鶏の鳴声を三声高唱し、勅使が御正殿階下に進み北に向い、「出御」と三声となえる。それを合図に、庭燎も常夜灯を打ち消され、浄闇の無言の中を、祭員が持つ純白の生絹の絹垣に囲まれた御神体が、松明と提灯の明りを便りに、新宮へと入御する。その後、召立所役は召立文を読み上げ、その召立に応じて捧げ持つ御装束御神宝を殿内に奉納され扉が閉じられる。

次に、勅使が階下へ進み、遷御の終る旨を奏され、大宮司が勅使の前に進み、祭儀の終わった旨を申し上げ、一同内院より退き、奉拝八度拍手両端（八度拝）を行い勅使以下祭員は座を起ち、荒祭官遥拝所（外宮は多賀宮遥拝所）において拝礼をし、遷御の儀は終了する。

遷御後の祭と行事

・大御饗

皇大神宮 十月三日

豊受大神宮 十月六日

遷御の翌日 新宮ではじめて

の大御饗をたてまつる祭。

・奉幣

皇大神宮 十月三日

豊受大神宮 十月六日

遷御の翌日、新宮の大御前に

勅使が幣帛奉奠される。

・古物渡

皇大神宮 十月三日

豊受大神宮 十月六日

遷御の翌日、古殿に奉納して

あった神宝類を新宮に移す式。

・御神楽御饗

皇大神宮 十月三日

豊受大神宮 十月六日

遷御の翌日の夕べ、御神楽に

先立ち、大御饗をたてまつる

祭。

・御神楽

皇大神宮 十月三日

豊受大神宮 十月六日

四丈殿で勅使及び祭主以下参

列のもと、宮内庁楽師十二員

により御神楽と秘曲が奉奏さ

れる。

また、両宮の諸別宮諸撰未社の

遷宮が行われ、第六十一回の式年

遷宮の全てが終るのは十年後のこ

とである。(宇賀神)

遷宮委員を終えて

むすび会副会長

金子宗生

第六十一回神宮式年遷宮のご盛
儀が、昨秋斎行されました。その後
十一月二十四、二十五日の両日に

亘り、神青協主催の奉祝行事であ
る伊勢街道参宮キャンペーンに、
稲、野崎両氏と参加してまいりま

した。第一日目は、桑名から松阪
までの八十三キロを九つの区間に
分け各担当者数名が寒風の中を歩
きました。メインとなる翌日は、
好天に恵まれ暖く、松阪から内宮
まで約三十キロを全国から集った
神青協会員五十名が、二列に並び
幟を持ち午前八時半から午後四時
にかけて晩秋の伊勢路を徒歩にて
参宮致しました。途中、代々の天
皇ごとに伊勢に派遣された斎主の
御所、事務所である「斎宮」跡で
休憩、宮川を渡り、外宮参拝を経
て、内宮では各県持参の奉献の菓
子を神楽殿に奉納して参拝、最後
に参集殿で神宮祭儀次長さんより
ねぎらいの御挨拶を頂きました。
振り返れば、三十キロの道程も、
とかく歩く事が少ない現代人の我
々にとっては、かなりの距離数で
あり完歩したした満足感と抱きな
がらも、以前黒川先輩が何日もか
け数百キロを歩かれた事を想起す
れば、その膨大さを痛感せずにい
られませんでした。

それぞれの奉祝行事の案件が提出
されましたが具体的な案が定まら
ず、どれから手をつけていいかわ
からない状態でしたが、徐々に各
県が奉祝を啓蒙する為の広告（は
がき・シール・カレンダー・掲示
板・イメージキャラクター・ぬり
絵）等を作成し、特に塗り絵は、
次回の遷宮・将来の世代と見越し
年少の子供達と対象に全国的規模
で実施致しました。その他、各県
で啓蒙事業が展開され、遷宮写真
展、イメージソングコンサート、
神職子弟神宮参拝等が行われまし
た。一方、端的な奉祝事業ではな
く、七五三、青少年対策等の通常
の活動の中で神宮を認識させる様
努めたお社も多数ある様です。
我むすび会の作りました教化ビ
デオも直接は、遷宮に関わってい
ませんが参拝作法も通して基本的
な意味で神宮へ発信音を送ってい
るはずです。

これらの活動の締め括りとして
前述の徒歩による遷宮キャンペー
ンに結実していきました。悠々の
神宮、その今度の数々の奉祝活動
は次回の遷宮へのひとつの過程で
あり、継続の為の大きな経験実績
としてとらえたいと思います。

厳かに、雅びやかに

皇太子殿下御成婚



「結婚の儀」

平成五年六月九日、皇太子殿下と小和田雅子様との「結婚の儀」が、国儀の儀式として国民注視の中、宮中三殿賢所に於て厳かに行われた。

午前十時過ぎ、黄丹袍姿の皇太子殿下そして十二単姿の雅子様がしずしずと参進する様子は、平安絵巻を見るようであり、降りしきる雨は美しいとばりとなり、あたかも賢所に時を封じ込めているかのようなであった。

二人は賢所外陣そして内陣に進まれ、皇祖神に拝礼の後、殿下が「変わることのない愛を誓い、将来の守護を願う」という趣旨の告文を読み上げた。

つぎに外陣に戻られ、御神酒を各々干され退出するまでの十五分余り、宮中三殿前庭では八百二十人の方々が儀式を見守られていました。

皇太子殿下と雅子様が退出された後、秋篠宮御夫妻が賢所前の神楽舎まで進み、皇族を代表して拝礼、参列者もこれに合せ自席拝礼の後退場した。尚両陛下は、皇室のしきたりにて、結婚の儀には御出席されませんでした。

御装束、祭典用具、結婚式場設備、
舞楽装束の御用命は

宮内庁・栃木県神社庁御用達

森 装 束 店

〒160 東京都新宿区西新宿4丁目7番21号
電話 東京 (03) 3376-4631番

社頭授与品専門奉製所
(主要奉製品意匠権所有に付、侵害厳禁)

常陸神宝(株)

〒310 水戸市根本町1丁目53-4

☎ (水戸) 0292(27)0511(代)

FAX(水戸) 0292(27)0512

「朝見の儀」

同日午後三時過ぎ、宮殿松の間に於て「朝見の儀」に臨まれ、天皇皇后両陛下にお二人がお礼を述べられ、さらに両陛下との親子固めの盃を交わされました。この儀式の中で殿下は「本日は結婚の儀を挙げていただき誠に有難うございました。これから二人して皇族としての責務を果たすよう努力していく所存でございます。ここに謹しんでお礼を申し上げます。」と申し上げられ、これに対し天皇陛下は「目出度く、結婚の儀を済ませ喜ばしく思います。今後は睦まじく、互いに心を合わせて家庭を築き、国や社会のために、また人々のために皇太子、皇太子妃としての務めを立派に果たしていくよう希望します」と、また皇后陛下は「このたびは、お目出とう。お二人の幾久しいお幸せと、東宮の御栄えを祈ります」と祝福の言葉をかけになった。

この後、両陛下に向かって右側にいったん着席し、改めてお一人ずつ前に出られ、黒豆を酒とみりんで煮てつくった「九年酒」で、親子固めの盃を交わされました。ついで台座の上に並べられた古式料理に箸を立てる所作をされ二十

分あまりの儀式を終えられました。

「祝賀パレード」

一連の儀式を終えられた殿下と雅子さまは、宮内庁楽部の演奏する奉祝曲「平成の春」をお聴きになった後、午後四時十五分、オーブンカーに乗り、東宮仮御所までの四・二五キロのパレードが始まった。それまでの雨がうそのように直前に上がり、薄日さす絶好のパレード日となり、沿道を埋めた十九万人以上の人々が日の丸の小旗を振ってお二人を祝福した。

「供膳の儀・三箇夜餅の儀」

御所にお入りになった両殿下はご結婚後夫婦となって初めての食事を共にする「供膳の儀」と、子孫繁栄を願う「三箇夜餅の儀」に臨まれ、両殿下にとつて長い一日が締めくくられました。

「御祝宴並宮中饗宴の儀」

日本中が喜びに湧いた日から一日おいた六月十一日夜、天皇陛下主催の内輪の御祝宴が宮殿「連翠」で催され、両陛下をはじめ皇太子同妃両殿下、各皇族方、元皇族、ご家族、小和田家の出席により、なごやかな雰囲気祝宴は続き、午後八時半、会場を宮殿「石橋の間」に移し後席は午後九時過ぎまで続いた。

また、六月十五日から三日間、各日正午と午後七時の計六回、

「宮中饗宴の儀」が宮殿「豊明殿」にて各界の代表者、在日外交団ら延べ二千二百二十七人の出席により華かに催されました。

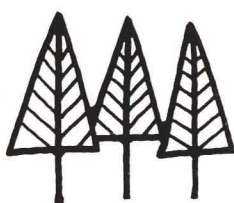
「神宮に謁するの儀」

皇太子同妃両殿下は、六月二十日神宮に、翌二十七日橿原市の神武天皇山陵に、二十九日八王子市の昭和天皇武蔵野陵にご参拝になつてご結婚関連のすべての儀式、行事をつつがなく終了されました。

尚、我々青年神職むすび会では毎年継続事業として実施してます植樹を、平成五年度は皇太子御成婚をお祝い致しまして、家中星宮神社、下古山星宮神社、愛宕神社の三社に真榊を植樹し、御影石製の記念碑を立てました。

この真榊が皇室の永遠の御栄とともに麗しく繁ることを願うものであります。

(小林)



京都奉製株式会社

京都営業所 〒602 京都市上京区智恵光院通中立売下山里町236-1
TEL (075) 432-5500
FAX (075) 432-5600
東京営業所 〒113 東京都文京区本郷3-41-9 ウォトミビル3F
TEL (03) 3818-1461
広島営業所 〒733 広島市西区横川町1丁目7-7 パルミー横川103号
TEL (082) 232-6845
FAX (082) 232-5720
本社 〒601-11 京都市左京区静海市原町1291-25
TEL (075) 741-3221

お守り製造販売

株式会社 ユーカワベ

〒607 京都市山科区西野山射庭ノ上町27-1A
TEL (075) 501-1411
FAX (075) 501-4480
東京店 〒113 東京都文京区向丘1-7-17-102
TEL (03) 3811-9091
FAX (03) 3811-9376

自 平成5年4月1日
至 平成6年3月31日

4月16日	むすび会 第一回 役員会
22日	神青協 定例総会
〃	むすび会 相談役会
26日	むすび会 第一回 幹事会
〃	むすび会 定例総会
28日	会員神社祭典奉仕(栃木県護国神社)
5月10日～11日	神青協 第一回 一都七県連絡協議会
18日	むすび会 第一回 各種合同委員会
21日	「栃の実学園」神棚祭
26日～27日	むすび会 第二回 役員会
6月7日～8日	神青協 一都七県関東地区総会
24日	皇太子殿下御成婚記念植樹
7月6日～7日	神社庁 一都七県野球大会参加
26日	神青協 第二回 一都七県連絡協議会
8月3日	むすび会 第二回 幹事会
17日～18日	むすび会 他県神社視察並家族会
9月2日	青少年教化育成研修会
10月8日	神青協 第三回 一都七県連絡協議会
9日	会員神社祭典奉仕(白鷺神社)
15日	むすび会 第三回 幹事会
15日～16日	伊勢神宮 初穗曳参加
22日	氏青親睦ゴルフ大会
11月5日	むすび会 OB青親睦ゴルフ大会
9日～10日	会員神社祭典奉仕(大前神社)
24日～26日	神青協 遷宮奉祝 伊勢街道参宮キャンペーン
12月14日	神青協 第四回 一都七県連絡協議会
23日	神宮大麻啓蒙活動
〃	むすび会退会及昇級・昇進祝賀会並忘年会
1月27日	むすび会 第四回 幹事会
2月11日	建国記念バレー参加
15日	神青協 第五回 一都七県連絡協議会
3月8日～9日	神青協 神宮研修会
25日	神青協 第六回 一都七県連絡協議会

F A X 0596-24-5 1 1 0

お初穂曳きに 御奉仕して

平出雷電神社禰宜

江部 幸男

第六十一回神宮式年遷宮が厳かに斎行された十月十五日、十六日の両日第二十二回初穂曳きの御奉仕をさせて頂きました。

栃木県からは四名が奉仕、十月十五日昼頃迄に、本県よりの奉仕者那須温泉神社禰宜の人見さん、氏子青年二名の方々と共に、伊勢市商工会議所に集合し、初穂曳き出発点迄バスに乗り、全国より集いました約二百五十名の方々と、地元 of 学生さん達と御一緒に宇治山田の御中を練り歩き外宮に参りました。外宮到着後は全奉仕者揃って参拝、新しくお建て替えられたお社の前に参りました時は、有難く自然に頭のたれる想いで参りました。

十五日の夜は、神嘗祭が斎行され奉拝させて頂きました。

夜、三重年金休暇センタより外宮神域に入り、神嘗祭に御奉仕される神宮の神職の方々が、夜の神域を火の中参進されるのを、私達は参道の両側に並びお迎え致しました。厳かなる神事は私達にはとうてい窺い知ることもできませんが、深い暗闇の中から微かな光と厳かなる神域の祭りの気配を心の中に感じておりました。

いつまでも神宮の祭事に参列していたかったのですが、時間の制限もあり、なごりおしみつつ宿泊所に戻って参りました。

十六日は、朝から雨、バスにて内宮宇治橋前まで参り、宇治橋を渡り玉砂利を踏み締めながら内宮までの参道を歩きました。神域内の深い森が雨に濡れてとても緑が奇麗に見えました。奉仕者揃って内宮を参拝した後、旧内宮殿を拝観させて頂きました。続いて神楽殿にてお神楽奉納後、神宮会館にて昼食をとり解散となりました。

記念すべき第六十一回式年遷宮における最初の「初穂曳」に御奉仕することが出来たことはとても有難く、貴重な体験が出来ましたことを心より感激いたしました。

お世話になった方々に心よりお礼申し上げながら、報告記とさせていただきます。

敬神崇祖と真心のご奉仕から!!

大麻・木札・家庭用神殿・外宮
結婚式場調度品・外祭用折タタミ案
御簾・各種織・各種幕
国旗及び幟用アルミ合金ポール
その他神祭具全般



林式
三 萌

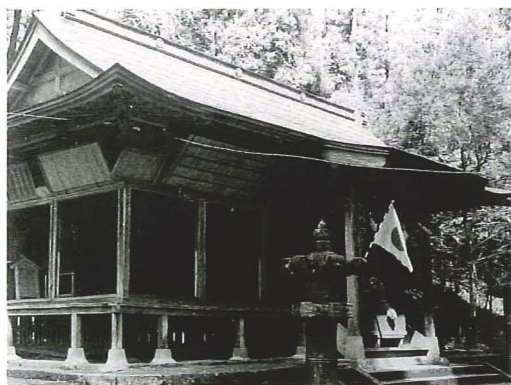
〒182 東京都調布市菊野台1-11-1
TEL: 0424-88-8886(代)
FAX: 0424-85-3010

●神社仏閣御用達 製紙(奉書・糊入・半紙製造)・
守護矢・掛軸・金・銀・木守・金欄交通安全木札
・紙札・プラスチック・ビニール・守大麻・荒紙
札・幣束

有限会社 **井丸井紙店**

代表取締役 有 泉 次 郎

〒400-36 山梨県市川大門町763 TEL 05527 (2)0136
(2)0762



温泉神社 (通称大宮)

禰宜 中山光明

鎮座地 那須郡黒羽町大字中野町

大宮

御祭神 大己貴命・少名彥命・天

地万神々

(後に村内十八社を合祀)

境内 約二〇三九坪

祭礼行事

歳旦祭、初詣△元旦〜七日

節分追儺祭 △二月節分の日▽

祈年祭 △二月十七日▽

例大祭 △四月十五日▽

神幸祭 △四月十五日▽

夏越大祓式「芽の輪くぐり」

△七月末▽

風雨順和祭「小祭」

△九月十日▽

新嘗祭 △十一月二十三日▽

御神宝・記念物

御神鏡「須藤権守貞信奉納」

石灯籠「黒羽藩主大関増栄奉納」

扁額「大宮」

「白河藩主松平定信奉納」

御神木「太郎杉」

推定樹令約五〇〇年

沿革

社伝によれば、当神社は那須余一宗隆が、西国屋島の戦に扇を射る時、那須湯本の温泉神社に祈願し、見事扇の的を射落して軍功を立てたので、凱旋帰国後那須家の居城である高館城下に「温泉大明神」を勧請したのが起りである。

那須氏が衰えた後は、黒羽藩主大関氏は代々これを崇敬し、社殿を現在の地に遷座して神社を維持したと伝う。『下野国誌』によれば、当社の御祭神はもと高麗命、

谷於賀美命の二柱であったとある。又『下野神社沿革誌』には、

当社の創立は詳かではないが、再建は大治二年(一一二七年)八月、那須氏の祖須藤権守貞信の造営であると記されている。いずれにしても、当神社の古文書や御神宝の多くは、明治十二年五月の火災により焼失した為、確固たる史実を確認できないのが誠に残念である。

神事と芸能

当神社には、古き文化を今に伝える数々の神事芸能があります。これらは先人から伝統のままに受け継がれ、現在でも大切に保存されております。古例により毎年行なわれる例大祭には、神賑行事として御神輿渡御にあわせて「獅子舞、太々神楽、流鏑馬、雅楽、屋台順行、お囃子」等の伝統ある神事芸能が、神様への感謝と祈りの気持ちを含めて氏子中の奉仕により終日奉納されます。これらは、参拝する人々の心に安らぎと郷愁とをあたえてくれます。



神社授與品
記念品奉製

株式会社長谷川製作所

代表取締役 長谷川和夫

東京都北区堀船三丁目二〇番十三号

電話 東京03(3912) 6 1 6 1

FAX 03(3912) 3 1 3 1

カザリシ

社寺専門店(御用達・鋳師)
屋根銅板葺 飾金具工事

有限会社

カザリカナグ

鈴木鋳金具工芸社

〒321-14 栃木県日光市東和町57-1

TEL 0288(54) 2 3 8 3

FAX 0288(54) 3 2 6 3



千代ヶ岡八幡宮

宮司 堀口邦夫

千代ヶ岡八幡宮は、寿永二年（安徳天皇時、皇紀一八四三年、西暦一一八三年）に下野国荒針（現在の宇都宮市大谷町荒針）より遷して谷田開（後に久下田町大字谷田開、現在の二宮町大字久下田字八幡山一六九二番地）に勧請し、開拓地の産土神として奉斎された神社です。

その産土神を千代ヶ岡と称するのは、神社建立のとき何処からか白鶴が一羽飛来して悠々と社殿の上を舞って飛び去ったが次の日も次の日も飛んで来て舞うこと三日に及んだこの奇瑞にあやかり鶴千年の齢に因んで千代ヶ岡と名づけ以後千代ヶ岡八幡宮と称したと伝えられています。

御祭神は誉田別命（第十五代応神天皇）でその御神体として祭られている神像は唐金製の小型なもので、天慶年中、常陸国において謀反を起した平将門征討の命を受

けた藤原秀郷が守護神として尊崇し、戦に臨む度に髪に秘めて出陣したと伝えられ、現在は、武将が白馬に跨った姿の木造極彩色のもので、寛政十一年九月、氏子の横田伝兵衛が奉納されたものであるが、その神像と共に平和を象徴する鎗物の鳩一番、金幣三体、神鏡一面を併せて奉納し元の御神像はその時新しい御神像の胎内に納め奉斎したと伝えられている。

例大祭は毎年十月十五日に久下田地区十四自治会より選出された氏子総代を中心に二宮町町長を始め地元商工会、銀行団、学校関係者他の参列のもと執り行われ、祭典終了後は地元弓道愛好会の人達による弓道奉納大会が行われています。

尚、昔は御例祭に併せて流鏑馬の奉納が行われており、近い将来復興出来るよう念願致しておるところです。

創業80余年の御信用

おみくじ機
おみくじ

製造販売

（有）女子道社

〒745-03 山口県都濃郡鹿野町
TEL 0834-68-2001
FAX 0834-68-2958

全国各神社御用達

神符・守札・木札・ビニール守・錦守・集印帳
交通安全守・御守袋・守護矢・ステッカー
奉書紙・書道半紙・画仙紙・色紙・他

創業100年 真心で奉仕する

❖ 今村紙業株式会社

代表取締役 今村 力男

〒409-36 山梨県西八代郡市川大門町6,237-11
電話 0552 (72) 0 5 1 4 番
FAX 0552 (72) 8 8 1 8

青少年教化育成研究会

「庭燎の集い」

教化研修委員会 菱沼

去る九月二日、古峯神社におきまして埼玉県神社庁の福井守久副庁長様を講師にお招きし、青少年教化育成研究会と題して神社庁教化部並びにむすび会合同によります庭燎の集いについての研修会が催されました。午前中は資料を使いながら、福井副庁長様自身が奉仕されており、熊谷市の高城神社で毎年行なっている庭燎の集いの様子を交えながら、注意する点や苦労話、集いをするこの意義等をわかりやすく説明いただきました。

午後は集いを盛り上げるのに必要なゲームや歌等の紹介に移り、話を聞くだけではわからないからとみんなで外に出てやってみる事になりました。最初のうちはさすがに照れながら歌を歌っていましたが、ゲームになると段々と熱くなり、みんな顔は笑っているのですが目は真剣で、知らない人が見たらちょっと無気味かなと思う程に我を忘れ、歳を忘れてゲームに夢中になってしまいました。

その後広場を設営する班、司会進行を受け持つ班、ゲームや歌を受け持つ班等必要な役務分担を決めて、各班実際に庭燎の集いを行なう為の準備に入りました。あいにくの空模様で、予定されていた庭燎の集いも一時は外で行なうのは無理かとも思われましたが、じきに心配された雨もあがり夕食後には予定どおりに集いが行なわれました。各班ともそれぞれ趣向を凝らし、準備時間が少なかったにもかかわらず「ヤマタノオロチ退治」の神話を寸劇にして演じる班等もあり、小道具を作る材料もないので大きなビニールシートを折り棒切れをツノに見立てての熱演にはおかしいやら感心するやら、ゲームや歌の進行係は「おかあさんといっしょ」のおにいさんになりきってしまい、道を間違えたかと思わせる程の才能を見せてくれました。

集いも無事に終わって、講師の福井宮司様の総評も取り敢えずは合格点をいただきましたが、今回の研修会が成功だったのかわりなものであったのかは、今後計画されている、実際に子供たちを招いての庭燎の集いの時にわかることにならうと思います。

「家族親睦旅行」



去る八月十七日・十八日の両日むすび会恒例の他県神社視察家族親睦旅行に行つて参りました。本年は群馬県の妙義神社参拝と緑豊かな鹿沢国民休暇村への宿泊でありました。

初日の早朝、護国神社へ集合し日程、人数の確認後大型バスに乗り、一路群馬県は妙義神社へと向う。途中、高速道路のパーキングエリア、ドライブイン等で休憩をとりながら五時間ぐらいで妙義神社へ着く。

妙義神社は祭神日本武尊を祀る旧県社である。本殿までは急な階段(約一〇〇段くらい)を上っていくことになる。子供達は元気に上っていった。

社殿は色鮮やかな立派な創りで大きななど久能山の東照宮を思わせる社であった。そこで、各自、

自由参拝、写真撮影等をして神社を後にする。

参拝後、ツツジが丘牧場へ向うことになるが、途中雲行きが怪しくなり、次第に雨が降ってきたのでそのまま宿へ向うことになる。宿泊する鹿沢国民休暇村へ着くと長い間のバス移動で疲れたのか各々部屋やロビーで寛いでいた。ここにはゲームセンター等の娯楽施設もなかったので外へ散歩く事もなく静かに休めた。

夕食後は子供達の為に花火を計画していたが日中の雨が夜になつて一段と強くなり止むを得ず中止し、部屋に集まり、トランプ等のゲームをして床に着く。

翌日は、唯帰るだけであつたが昨日立ち寄る事が出来なかったツツジが丘牧場へ寄る事になった。

ここでは、羊やうさぎの動物にエサを与える事が出来たので子供達は喜んでいた様子だつた。

その後バスは、途中昼食、休憩等をとって護国神社へ到着、人数確認後解散となり、一泊二日の旅行も終る。

この二日間、天候に恵まれなかったこと、段取り不足により参加者に何もしてあげられなかったのが悔まれた。バスの中でのレクリエーション等も必要だった、今後は充分計画を練って企画することが大切な事だと思ふ。(野崎)

新入会員紹介



宇賀神 直人

住 所：大田原市山の手二丁目
二〇三九番地

生年月日：S 43・3・23

奉務先：大田原神社

大学を卒業し、奉職して今年で四年目を迎えます。その間、試行錯誤を繰り返しながら御奉仕してまいりました。これから先も、諸先輩方をお手本とし、そこから一つでも多くの事を学び、そして出来る事なら一つでも多くお役に立つことが出来る様、精進していくつもりです。そしてもう一つ、私達神職は神様と氏子の皆様との仲執り持ちであるということを中心に留めて日々の神明奉仕に励んでいきたいと思っています。



矢 木 公 久

住 所：日光市中宮祠二四八四

生年月日：S 46・2・6

奉務先：日光二荒山神社

趣 味：バイク、釣り、書道

(特技) 逆立ち歩行

座右の銘：無知の知

好きな女性のタイプ：

銀河鉄道999のメーテル

田中美佐子

神道の歴史(過去)は底知れず永いでしょうし、またその未来も同じであろう。私は永久的なものの本質のあるものが好きです。この感情は一時的な流行ものが好きでない所から来ているものと思えますが、その時の経過の中で私がうけもつ時間の間、もつともっと良く磨いて次の選手に渡したく思います。



萩野矢 正 美

住 所：下都賀郡石橋町

生年月日：S 29・5・24

奉務先：宇都宮二荒山神社

趣 味：映画

座右の銘：一隅を照らす

好きな女性のタイプ：和久井映見

神社に奉職しまして、二年を経ようとしています。まだまだ、わからない事がたくさんありますが、自分自身が少しでも成長できるように努力していきたいと思っています。



佐 藤 智 則

住 所：真岡市荒町二二四番地

第二マルフミ荘A棟五号

生年月日：S 44・4・25

奉務先：大前神社

趣 味：スキー

好きな女性のタイプ：

ワシオ イサコ

コンドウ サト

少しでも早く使える男になること。

宮内庁・栃木県神社庁御用達

神祭具・御装束一式・結婚式場調度舗設

高田善次装束店

〒101 東京都千代田区神田須田町1-17

加藤ビル2階

電話・FAX 03 (3251) 1 8 6 9

宮内庁・神宮司庁・神社本庁 御用達

株式
会社



本 社 京都市下京区油小路通六条上る(〒600)
電話(075)341-3341(代) F A X (075)341-7902

東京店 東京都新宿区四谷三栄町11-6(〒160)
電話(03)3357-4800(代) F A X (03)3357-4805

福岡店 福岡市博多区東公園2-31(吉塚駅前)(〒812)
電話(092)651-9456(代) F A X (092)631-0835

新入会員紹介



野 崎 正 之

住 所：矢板市荒井

六六一一六

生年月日：S 44・12・12

奉務先：宇都宮二荒山神社

趣 味：魚つり、ギター等楽器

座右の銘：初志貫徹

好きな女性のタイプ：

明るく、やさしい人

平成五年四月より宇都宮二荒山神社に御奉仕させて戴いております。

私がこの道を選んだのは神道が日本の文化伝統を守り伝えているということ、そして神職はそれを教え伝える重要な役割を担っていると思ったからです。それには教師同様又はそれ以上の知識・教養をもって人々に接し教え伝えなければなりません。今後は先輩神職さんに御指導戴きながら、経験と知識を身に付けて立派な神職になれるよう努力致します。



渡 辺 幸 雄

住 所：宇都宮市砥上町

三三六七四

生年月日：S 41・10・29

奉務先：古峯神社

趣 味：読書、弓道（初段）

座右の銘：敬神生活の綱領

好きな女性のタイプ：

真心のある女性

私は、古峯神社に昭和六十年三月に奉職を致しまして、今年で九年目になります。高校を卒業し、古峯神社に奉職させて頂きましたので、神社で奉仕しながら資格を取らせて頂きました。平成四年四月一日付にて古峯神社権禰宜に就任致しまして、むすび会の会員に入会することになり、まだまだ未熟ではありますが会の発展の為、頑張っていく所存でございますので、御指導、御鞭撻の程よろしくお願い致します。



田 中 教 文

住 所：今市市今市五三一

生年月日：S 47・9・9

奉務先：瀧尾神社

趣 味：スノーボード、サッカー

座右の銘：天を敬し人を愛す

好きな女性のタイプ

明るく一緒にいて退屈しない人

私は、昨年四月、今市鎮守瀧尾神社の禰宜を拝命以来、早くも一年が過ぎようとしているが、宮司の父のもとに日々の奉仕は元より元旦祭、節分祭、例祭、七五三参り、等々数々の年中行事についての指導を受け乍ら少しずつ身についていた言動が出来るよう努めている。学校で或は実習神社に於ける種々の学習を基礎に当社に相応しい祭典の厳修を初め氏子崇敬者等、多くの参詣者にいかに御神威を蒙らしめることが出来るか等、自分なりに模索する毎日である。一日一日の積み重ね、修行が大切なことと思う。誠心誠意の奉仕こそ最高の神への奉仕だと思ふ。氏子と氏神の中執持として地域社会の為、微力ながら全力を挙げて斯界のため尽したい。只今私の神明奉仕活動は始動したばかりだ。先はまだ長い一歩一歩着実に歩を進めたい。

各種授与品、記念品奉製

金欄錦守、合成樹脂製守、紙礼守
木札、金属製守、反射ステッカー

●その他各種授与品御希望に奉製致します。

株式会社 三愛工芸

〒311-41 水戸市大塚町字谷津1761-16

電話 水戸(0292) 51-2051(代)

FAX 水戸(0292) 53-5844

県内各神社様、工事拝命先 (順不同)

日光東照宮
日光二荒山神社
宇都宮二荒山神社
真岡大前神社
大田原那須神社
西那須野乃木神社
氏家今宮神社

矢板木幡神社
小川温泉神社
足利樺崎八幡宮
佐野人丸神社
足利一社八幡宮
祖母井神社



株式会社

小西美術工芸社

〒321-14 栃木県日光市山内2362 TEL日光(0288) 54-1198(代)
〒108 東京都港区高輪1-5-22 TEL東京(03) 3447-1481(代)

定年退会者



斎藤 哲男

住 所 今市市川室七〇一
生年月日 昭和28年12月14日
奉 務 先 宇都宮二荒山神社
趣味・特技 早寝早起
座右の銘 我以外皆師也

今年は、皇太子殿下ご結婚の儀、第六十一回式年遷宮と我国にとつて誠に意義ある慶祝の年であるが、一方では依然出口の見えない不況が長期化している。過去二回の遷宮の時期も国内は冷害や不況により景気は、低迷していたが、御神威のよみがえりを契機として見事立ち直った経緯がある。現在の不況は、前回と内容が違うかもしれないが一刻も早い岩戸開きを期待したい。



斉藤 芳史

住 所 日光市山内二三八四
生年月日 昭和27年12月19日
奉 務 先 日光二荒山神社
趣味・特技 読書、ゴルフ、弓道
座右の銘 幼而学壮而行

兎角、目先のことに捉われ煩悩の虜になるのが人の世の常か。
(明治天皇御製)

あさみどり 澄みわたるた
大空の 広きをおのが

心とものがな

時々口ずさんで、そうあろうと思うのである。思うだけで、それがなかなか感得し難い。人間である故に、何かに拘り、我を通して、そして反省？。相も変わらずその繰り返しである。大空を大の先輩と見ながら、目の前の庭の狭さにこだわり悩み、苛立つのである。

社会的、文化的にも細分化され行く、現代の価値感の中で、せめて心々だけは澄んだ秋の青空の如くにありたいものである。



寺内 俊彦

住 所 下都賀郡岩舟町小野寺
生年月日 昭和29年1月25日生
奉 務 先 村檜神社
趣味・特技 ドライブ

私も、いつの間にか四十才になり退会することとなりました。

会員の諸君。

今後共益々御自愛の上、健康で失敗を恐れず、色々なことを経験し、若き力を十分に発揮するため「むすびと産霊」を忘れずに頑張ってください。

若松 豊明

住 所 上野賀郡西方村真名子

八三七ノ五

生年月日 昭和28年11月24日
奉 務 先 宇都宮二荒山神社

武内 節史

住 所 今市市今市七四三
生年月日 昭和28年4月3日
奉 務 先 報徳二宮神社

沼尾 利光

住 所 今市市川室一二
生年月日 昭和28年11月18日
奉 務 先 古峯神社

新井 巖

住 所 佐野市高橋町二〇四一
生年月日 昭和28年11月15日
奉 務 先 唐沢山神社

祝ご誕生



氏 名 小島 教敬

(八幡宮宮司)

第一子氏名 悠 (ハルカ)

生年月日 H5・8・11生

親からの希望 元氣ならOK。

氏 名 堀口 邦夫

(栃木県神社庁録事)

第一子氏名 博美 (ヒロミ)

生年月日 H6・1・30生

親からの希望 明るく素直な子に育ってほしいと思います。

祝ご結婚



氏 名：小島 教敬

奉 務 先：八幡宮

挙式日付：H4・4・18

場所：二荒山会館

新婦氏名：朗子（アキコ）

希望・抱負：あわてズ、あせらず、急がズ（何事も）

奥さんのコメント：社頭の隆昌に手助けしたい。

氏 名：篠田 薫

奉 務 先：古峯神社

挙式・日付：H5・10・3

場所：アピア

新婦氏名：郁美

希望・抱負：氏子、崇敬者の範となるような家庭を築きたい。

奥さんのコメント：主人と一緒にいつまでも心穏やかに暮らしていきたい

と思います。

氏 名：宇賀神直人

奉 務 先：大田原神社

挙式日付：九月二十八日

場所：大田原神社

披露宴：ウェディングプラザ 鹿島

新婦氏名：由記子

希望・抱負：暖かい家庭を作りたい。

奥さんのコメント：誰もが遊びに行きたくなる様な楽しく笑い声が絶えない家庭を築いていきたいと思っております。

編集後記

昨年中は、皇太子殿下御成婚、神宮式年遷宮と国民挙ての慶びにわいた年でありました。

私たちが会員一同においても、創立三十周年記念事業を無事にすませ誠に意義のある一年でした。

しかしながら、社会に目を向けますと政治経済の変動や悲惨な犯罪の横行など、奉祝ムードの陰でゆがんだ力が人々を蝕びみつづけることを改めて感じました。

又、日本人の心ともいうべき米の大凶作に共なう自由化の波も重なり、大神様の人々への忠告とも受けとめられる思いがした一年でした。

私たちが会員一同は諸先輩の尊い情熱を胸に今年を一つの節目として、この混沌する世に自己研鑽を計りまして社会に寄与し、更に飛躍の年にしなければならぬと思っています。

今年も会報「むすび」第十八号を無事に皆様のお手元にお届けすることができましたが、飛躍の年にふさわしい内容等になりませんでしたことを反省すると共に、次号にご期待願えればと、勝手ながら思う次第です。

最後になりましたが編集に当りまして、御協賛、御協力戴きました皆様に心より御礼を申し上げると共に、今後とも若き精鋭たちにご期待御協力のほど宜しくお願い申し上げます。

広報委員会

小林 靖 小幡 正之

伊原 弘之 伊藤 史展

野崎 正之 石川 安一

宇賀神直人

御守・御札奉製

東洋工芸

〒321

宇都宮市石井町2551-6

TEL 0286 (62) 0043



神社本庁 御用達
各 神 社

- 交通安全御守護 ●御参拝記念品
- 開運招福鈴 ●御社頭授与品

立案調製致します。

◆技術と信用◆

鈴木徽章工芸株式会社

〒113 東京都文京区弥生2-12-1

TEL. 03-3814-1811 FAX. 03-3818-8332